

# OB/OG Voices 修了生の声



多彩な職種の同級生とともに学んだ5年間は、新鮮な刺激に満ちた日々でした。

木村 鷹介 さん（理学療法士）

2017年 博士前期課程修了 / 2020年 博士後期課程修了  
JCHO 東京新宿メディカルセンター 勤務

本学位プログラムの魅力は、さまざまな年齢、多彩な職種  
のメンバーが集まることだと思います。さまざまな専門  
分野の素晴らしい先生方をはじめ、医療、教育、福祉な  
どさまざまな道で活躍中の同期の皆さんが、現場での課  
題解決のために切磋琢磨している。これは他の大学院に  
は類を見ない特徴だと思います。

私自身、これまで理学療法の授業しか受けたことがあり  
ませんでしたが、精神障害学や特別支援教育など視点の  
異なる講義はとても新鮮でした。そういった異なる分野  
の知識は、実は理学療法の臨床にも活きるものがたくさ  
んあります。

5年間の大学院生活は、苦勞もありましたが、仕事に研究  
にと、とても充実した刺激的な日々を送ることができま  
した。さまざまな人と出会い、さまざまな経験をし、人間  
としても成長できたと思います。



福祉から医療まで  
リハビリテーションを  
幅広く学べる。

湯本 瞳 さん（言語聴覚士）

2019年 博士前期課程修了  
北里大学病院 リハビリテーション部 勤務

本学位プログラムでリハビリテーションを幅広く学  
んだことで、自分の可能性が広がりました。これまでは  
医学の中でしか物事を見ることができず、どうしても  
“大学病院の言語聴覚士”という仕事の枠から出られ  
ませんでした。ですが、教育、社会、職業など、他領域の  
リハビリテーションへも目を向けるきっかけをいた  
だき、将来的には福祉領域でも困っている人の助けに  
なりたい、という意識が生まれました。

今振り返っても、筑波大学大学院はとても多様性のある  
学びの場でした。一つの専門にとらわれずいろいろな  
領域を知りたいという方なら、筑波大で学ぶことを  
ぜひお勧めしたいですね。



リハビリテーションの  
次世代リーダーを養成する

広い視野と深い専門性を培う  
社会人のための夜間大学院



## Rehabilitation Science

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群  
リハビリテーション科学 学位プログラム 博士前期課程 / 博士後期課程

志ある社会人のみなさんを歓迎します！

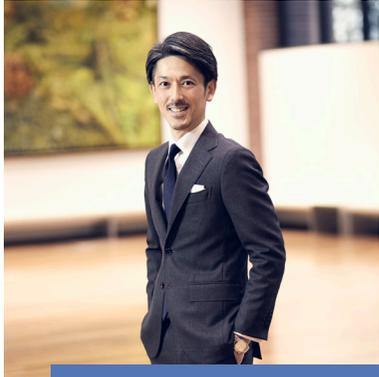
入試に関する情報等、より詳しい内容をWebサイトで公開しています。

<http://www.human.tsukuba.ac.jp/rehabili/>



# Message

高度の専門性を備えた職業人を養成し、  
社会人の再教育の機会を提供するために



リハビリテーション  
科学 学位プログラムリーダー  
山田 実 Minoru YAMADA

本学位プログラムは、高度の専門性を備えた職業人を養成するとともに、社会人の再教育の機会を提供することを目的として、平成元年に創設されました。2年制の修士課程で、通常の専門分野の区分にとられない学際的な教育課程を編成し、高度の総合的視野を備えた有能な人材が育つようにコアカリキュラムが組まれていることを特色としています。また、平成20年には3年制の博士課程を設置し、社会人が現職のまま博士号の学位を取得する道が拓かれました。博士後期課程への進学を希望される方には、より高度な研究に繋がる基礎的準備となる研究活動ができるように配慮しています。現職社会人として働きながら専ら夜間に院生生活を送ることは、周囲の方々のご理解とご本人の頑張りがなくはなりません、それだけに院生生活は楽しく、修了時の喜びは格別なものです。専任教員も個別の研究指導を重視し、学習状況に十分配慮して応援していく所存ですので、是非、現職大学院生の研究生生活をご堪能ください。

## 博士前期課程について

本学位プログラムでは、高度専門職業人を養成するという社会人大学院の基本理念のもと、リハビリテーション分野における幅広い視野の獲得と専門性の深化を図ることを教育目標としています。

このうち、高度専門職業人の養成としては、実践場面における問題発見能力や問題解決能力をはじめ、研究計画能力や論文作成能力、情報処理能力、ディスカッション能力、プレゼンテーション能力などを高め、実践研究者としての能力を身につけることを目標としています。また、リハビリテーション分野における学習としては、さまざまな領域・職種の特任者との交流を深め、リハビリテーションや障害に関する総合的・包括的な物の見方・考え方を学ぶことを目標としています。

### ●開設科目(一例)

基礎科目:リハビリテーション方法論基礎/リハビリテーション研究法/医学的リハビリテーション/特別支援教育特講 ほか  
専門科目:特別支援教育授業論/障害者福祉論/職業指導論/リハビリテーション事例研究 ほか

●取得できる学位 :修士(リハビリテーション科学) ●募集定員数 :23名

## 博士後期課程について

本学位プログラムでは、リハビリテーション分野において遭遇する、保健・医療・教育・労働・社会福祉などの幅広い領域における課題の解決を目指す、リハビリテーションに関わる実践科学を対象とした教育や研究を行います。具体的には、リハビリテーション関係の研究者、専門職業人に対して、リハビリテーションの包括的基盤教育を行うとともに、国際的・学際的な研究の成果と方法論を習得し、他職種と連携して、職場や社会での諸課題について、科学的・実践的・開発的に解決し、社会に貢献する学際的な能力の習得を目指します。本学位プログラムでは、包括的なリハビリテーション分野(特に、保健・医療・教育・労働・社会福祉)に関わる課題解決に焦点づけた研究型高度専門職業人を養成することを目的とした、現職社会人(過去に社会人経験のある方を含む)を対象とした博士後期課程(3年)です。

### ●開設科目(一例)

基礎科目:リハビリテーション科学基礎論/リハビリテーション科学特論/リハビリテーション科学演習 ほか  
選択科目:職業リハビリテーション特論/障害科学特論/発達支援科学特論/発達支援評価特論 ほか

●取得できる学位 :博士(リハビリテーション科学) ●募集定員数 :4名

## 本学位プログラムの強み

### ●リハビリテーションに関わる包括的な課題解決を目指す

一つの専門領域にとらわれず、保健・医療・教育・労働・社会福祉までリハビリテーションに関する包括的な課題解決を目指します。

### ●多様性のある学びの環境

幅広い領域の専門家が揃う教員陣はもちろん、医療・福祉・職業・教育・心理など多領域の社会人学生が集う場でもあります。多様性のある環境のなかで、広い視野で研究することができます。

### ●仕事との両立をサポートするカリキュラム

授業は基本的に平日夜間と土曜の昼夜間のみ。段階的にステップアップできる独自のカリキュラム設計により、限られた時間の中で仕事と学業を両立でき、ほとんどの学生が規定の標準修了年限で課程を修了しています。